

# 日本原水協活動交流ニュース

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 2015年  
FAX:03-5842-6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com 10月5日発行

## “被爆70年のつどい”成功させよう



日本原水協も実行委員会に入っている被爆70年のつどいが10月17日(土)13時から日比谷公会堂で開催されます。(12時受付開始)

メイン企画「広島・長崎はなんだったのか?—今を戦前にしないために」では、『原水協通信』2015年10月号8面に被爆70年日本原水協ヒバクシャ遊説 in ヨーロッパの第1弾としてベルギー～オランダを訪問した長崎被爆者の横山照子さん(左写真)が証言をします。

### 【プログラム】

12:00 受付開始  
13:00 「まほうのたね」——F・パブロフ  
「茶色の朝」より——  
13:35 メイン企画「広島・長崎はなんだったのか?—今を戦前にしないために」  
15:15 合唱団この灯  
15:30 リレートーク ①安野輝子さん(全国空襲連・副運営委員長) ②柿沢未途さん(空襲被害者等の補償問題について立法措置による解決を考える議員連盟) ③瑞慶山茂さん(弁護士、沖縄民間戦争被害者の会顧問弁護士) ④照屋仁志さん(日本青年団協議会会長、沖縄在住) ⑤村上正晃さん(広島平和公園ガイド) ⑥富田彩友美さん(東京芸術大学3年) ⑦阿部のぞみさん(全日本教職員組合青年部事務局長) ⑧根本雅也さん(日本被団協被爆70年調査作業グループ) ⑨高校生平和ゼミナール ⑩吉村優子さん(ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会、大学生)  
16:20 会場からの一言メッセージ紹介  
16:40 閉会挨拶 実行委員長 田中熙巳(日本原水爆被害者団体協議会事務局長)

## 「広島・長崎はなんだったのか? —今を戦前にしないために」

## 被爆者の声を聞こう

### ◆「原爆」を背負い続ける被爆者の証言



岩佐幹三さん 日本原水爆被害者団体協議会代表委員  
広島 1.2kmで被爆 当時16歳 被爆当時のようすを語る  
倒壊した家屋の下敷きとなって母が焼死。妹は第一胎女一年生で、建物疎開作業中に被爆、行方不明のまま。



横山照子さん 一般財団法人長崎原爆被災者協議会理事  
長崎 当時4歳 被爆者の戦後を語る  
父は1.2kmで被爆し重傷、母と妹は4kmで被爆。妹はその後失明、戦後生まれの末妹も原爆症に。戦後親族を次々に癌で喪う。

### ◆ふたたび被爆者を作るな! 基本要件にこめられた思い



吉田一人さん 日本原水爆被害者団体協議会機関紙編集委員  
長崎 3kmで被爆 当時13歳 「原爆被害者の基本要件」にこめられた思いを語る  
1980年から4年をかけて、「再び被爆者をつくらないために」を合言葉に、全国から寄せられた意見をつげられず反映させて「基本要件」は作り上げられた。

### ◆被爆者の運動が日本と世界の世論を動かす



藤森俊希さん 日本原水爆被害者団体協議会事務局長  
広島 2.3kmで被爆 当時1歳 世界の世論の変化を語る  
NPT再検討会議のNGOセッション、核兵器の非人道性に関する国際会議(ノルウェー、メキシコ、オーストリア)に参加、発言

参加費: 500円(障がい者、高校生以下無料)

どなたでも参加できます。